


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本国際空港株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
																																		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・自社のビジョンをオフィス内や空港ターミナル内に複数掲示し、社内ですべて意識を醸成するとともに外部に向けて発信している。 ・公式ホームページにて事業計画とマスタープランを公表しており、全社員一丸となって経営目標に挑戦する文化が形成されている。													8	9										17					
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンス委員会を設置し、かつ「内部通報制度規程」を策定して、コンプライアンス強化に取り組んでいる。 ・航空の安全・保安の確保には様々な法令の遵守が必要であるため、専門部署を設けて、対応している。																							16						
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引先と「秘密保持に関する誓約書」を締結し、不正競争防止に努めている。 ・「ソーシャルメディア運用ガイドライン」を策定し、営業秘密等を漏洩しないよう、社員のソーシャルメディア利用について管理している。																10							16						
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・空港周辺の騒音問題及び騒音調査専門部署として「地域連携部」を設置している。 ・第三者モニタリング委員会、第三者アドバイザリー委員会を設置し、外部有識者から企業活動について助言・提言を受けている。 ・航空の安全・保安の確保には様々な法令の遵守が必要であるため、専門部署を設けて、対応している。																							16						
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・ロゴや社名の商標権を取得している。 ・取引先と「秘密保持に関する誓約書」を締結し、知的財産の保護に努めている。																8.2		9						16					
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「特定個人情報取扱規程」を策定し、個人情報の適切な取り扱いを遵守している。 ・全社員を対象として、定期的な情報セキュリティ研修を実施している。 ・各種申請書等の保管やデータ管理を徹底し、定期的な自主点検を行っている。																							16						
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・国内線ターミナル敷か所にご意見箱を設置し、利用客の要望・意見を常に取り入れるよう努めている。 ・空港内入居テナントとの定例会議を設けている。 ・熊本県や空港周辺自治体と随時ミーティングを行っている。																						16	17						
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・継続的なサプライヤーや事業パートナーとは契約を締結して倫理的な行動をもって互いに事業に資することを共有している。																									16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・熊本空港全体で緊急計画やBCPを策定し、熊本県等の自治体やエアライン、警察消防、医療機関等と連携して災害や事故等に備えている。 ・上記計画等に基づき、熊本空港として毎年訓練を行うとともに毎年見直しを実施している。																	9			11		13.1				16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・2020年4月1日より国から空港運営事業を承継している。																	8		9								17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1		2																						16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・「ハラスメントの防止に関する規程」を策定し、また研修会を実施する等、各種ハラスメントの防止に努めている。 ・各種ハラスメントの相談窓口を設置している。 ・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生等、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。																									16.1		16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・「就業規則」を策定し、労働災害の防止及び安全衛生の確保について定めている。 ・「安全衛生委員会」を設置している。 ・「社員の健康管理に関する規程」及び「ストレスチェック制度実施要領」を策定し、全社員の心身の健康管理を推進している。 ・自社の衛生管理者、安全管理者をはじめとして安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。																													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。																													
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理を徹底している。 ・安全衛生委員会にて産業医を交え定期的に残業時間を共有し、残業時間が多い社員にはヒアリングを行って長時間労働防止に努めている。 ・「育児休業等に関する規程」や「介護休業等に関する規程」等を策定し、ワークライフバランスを推進している。																													
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・「給与規程」を策定し、資格取得費用の支給や資格手当等、各種資格の取得を奨励している。 ・社員は必要に応じてセミナーや講演会等に参加している。																													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・人間ドック、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・毎月「安全衛生委員会」を開催し、全社員の健康増進を推進している。																												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別等の違いによる差別的待遇はない。 ・複数の国出身の外国人を雇用している。 ・他法人を退職した高齢者を採用している。																												16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策として有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・「在宅勤務規程」を策定し、新しい働き方に対する労働管理体制を整備している。 ・オフィス内の全ての会議室、応接室にweb会議用ITツールを整備している。 ・PCやスマートフォン等、テレワークに必要な各種ITツールを社員に配布してテレワークを推進している。																													
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・2021年8月に発足した、国土交通省航空局主導の「航空機運航のDX推進に向けた官民協議会」に参画し、航空交通のDX化を図っている。 ・国内線ターミナルの案内板としてデジタルサイネージを活用している。																													
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																															

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本国際空港株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・専門業者へ委託し一般ごみと産廃ごみに分別し、適切にごみ処理を行っている。 ・浄化槽を運用し、空港全体の汚水を浄化処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・国内線ターミナルにデマンドコントローラーを設置し、節電に取り組んでいる。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・毎年電力や各種燃料の使用量の実績を集約している。その集約結果に対して、自社で排出量の算定を行っている。 ・カーボンニュートラル空港を目指し、全熱交換システムを運用するなど、省エネ機器や高効率機器の導入を促進している。			2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・国内線ターミナル及び自社に節水トイレを導入し、水資源の保全に取り組んでいる。 ・国際線航空便からの外来生物侵入を防ぐため意識啓発ポスターを掲示している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・中古ファイルはできるだけリユースしている。 ・ICTツールを導入し、業務や会議のペーパーレス化に取り組んでいる。 ・社員がマイボトルやマイバッグを使用している。										9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・国内線ターミナル及び自社に節水トイレを導入し、水資源の保全に取り組んでいる。 ・熊本県環境保全協議会に入会し、水資源保全の推進に努めている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・製品カタログやホームページを活用し、グリーン購入に努めている。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・空港内テナント売店において、エンカルプロジェクトや賞味期限前の割引販売を実施している。またフードコートでは賞味期限前の食品を使って従業員向けに安価な食事を提供している。		1	2				6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・空港用地内に植栽や緑地帯を設け、それらの保全管理を行っている。 ・立体駐車場の壁面に、つる性の植栽を育てている。 ・国内線ターミナル周辺では、熊本県内農業高校10校と提携し、年間を通して四季の草花のプランターを設置している。													11.6 11.7			13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・ラウンジASOに全熱交換システムを導入し、換気によるエネルギーロスを防いでいる。 ・国内線ターミナルにて高効率空調システムを運用している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・2023年春に開業する新旅客ターミナルビル(現在建築中)の仕上材として熊本県産材を使用する計画を進めるなど、県産材の有効活用に取り組んでいる。						6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・浄化槽を運用し、空港全体の汚水を浄化処理して海洋汚染の防止に努めている。														12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・国内線ターミナル到着ロビーにバス時刻表のデジタルサイネージを設置したり、バス乗り場案内を大きく表示したりして、バスの利用促進を行っている。 ・空港駐車場に電気自動車充電スタンドを設置している。											9.4			11.2			13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・カーボンニュートラル空港を目指し、全熱交換システムを運用するなど、省エネ機器や高効率機器の導入を促進している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13				17.17		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本国際空港株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・空港運営について「熊本空港供用規程」を策定し、安全性やサービス内容について公表している。 ・空港内の安全や保安の確保のための各種規程を策定し、着実な安全・保安業務を実施するとともに、警備会社や警察等と連携し訓練を行っている。 ・自社と第三者による複層的なモニタリングを行い、安全性・保安性を向上している。				3.9					9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・空港内の案内にはビクトグラムや看板を多数使用し、誰もが分かりやすい表示に努めている。 ・空港ターミナル内やトイレ等、ユニバーサルデザインを取り入れるよう努めている。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・2023年春に開業する新旅客ターミナルビル(現在建築中)の仕上材として熊本県産材を使用する計画を進めるなど、県産材の有効活用に取り組んでいる。							7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・2023年春に開業する新旅客ターミナルビル(現在建築中)の仕上材として熊本県産材を使用する計画を進めるなど、県産材の有効活用に取り組んでいる。							7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・空港運営により地域の利便性向上や活性化に寄与している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●					2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 自治体活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県内の非営利慈善団体へ寄付を行っている。 ・空港周辺地域の清掃活動を行っている。 ・熊本県や空港周辺自治体と連携し、防災計画の検討から防災活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・専門部署を主体として防災、減災計画を策定し訓練を行っている。 ・上記計画の策定や各種訓練の想定には熊本空港としての自然災害の記録も踏まえて活用している。				4							11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・複数の社員に自衛消防業務講習や蘇生法等の講習を受講させ、防災の技能を持つ社員を育成するとともに、社内への啓発に努めている。 ・専門部署を設け、防災・減災に取り組んでいる。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・【予定】今年度中に全社員対象のSDGs研修を開催。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・インターンシップの受入れを行っている。 ・要請に応じ、熊本県内の学校にて社員による空港関連の授業を行っている。				4				8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・熊本県内の新卒採用及び中途採用を行っている(Uターン、Iターン含む)。				4.4					8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 子どもに対する農林水産教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●					2				4.3 4.4 4.5		8.6		10.2		12	13	14	15		17